

認定番号

新潟市環境優良事業者等認定申請書

年 月 日

新潟市長

住所 〒

(申請者) 事業者等名称

(代表者)

新潟市環境優良事業者等認定制度に、次のとおり申請します。

1 認定希望部門（希望する区分すべてにレを記入）

<input type="checkbox"/> 3R推進部門	<input type="checkbox"/> ゼロカーボン部門	<input type="checkbox"/> 食品ロス削減部門
すでに認定済みの部門がある場合		
既認定部門名（ 部門）		
既認定番号（ ）		

2 担当者連絡先

担当者	所 属	
	氏 名	
	電 話	
	F A X	
	E-mail	

3 確認事項（相違ない場合、レを記入）

市税の滞納はありません。	<input type="checkbox"/>
民事再生法及び会社更生法に基づく再生又は更生手続き開始の申立てをしていません。	<input type="checkbox"/>

4 暴力団排除に関する誓約

新潟市暴力団排除条例（平成24年新潟市条例第61号。以下「条例」という。）に基づき行政事務全般からの暴力団排除措置を講じています。申請にあたっては、次の事項を確認のうえ、にレを記入してください。

- 自己又は自己の団体及びその役員等は、次のいずれにも該当しません。
- (1) 暴力団（条例第2条第2項に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - (2) 暴力団員（条例第2条第3項に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - (3) 役員等（法人である場合は役員又は支店若しくは営業所の代表者その他これらと同等の責任を有する者をいい、法人以外の団体である場合は代表者、理事その他これらと同等の責任を有する者をいう。）が暴力団員であるもの
 - (4) 暴力団又は暴力団員が経営に実質的に関与しているもの
 - (5) 自己又はその属する法人その他の団体若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用しているもの
 - (6) 暴力団又は暴力団員に対して資金を提供し、又は便宜を供与するなど直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与しているもの
 - (7) その他暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有するもの
- 上記誓約事項の確認のため、関係書類にある個人情報をもとにして、新潟県警察本部に照会がなされる場合があることに同意します。

【参考】

新潟市暴力団排除条例

（市の事務又は事業において講ずべき措置）

第6条 市は、公共工事の契約その他の市の事務又は事業により暴力団に利益を与えることがないように、暴力団、暴力団員及び暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有するものを市が実施する入札に参加させないことその他の暴力団排除のために必要な措置を講ずるものとする。

5 申請事業所一覧

(同時に2カ所以上の事業所を申請する場合に記入)

	事業所名	住所	連絡先	担当
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

6 3R推進部門の取り組み内容

①現在取り組んでいる内容の申請欄にレを入れてください。

②評価点合計の欄に点数を記入してください。

1. リデュース（発生抑制）	評価点	申請欄
ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用を削減している。	1	<input type="checkbox"/>
再生材やバイオマスプラスチックを用いたものを使用している。	1	<input type="checkbox"/>
マイ箸・マイボトルの使用を推奨し、使い捨て製品を削減している。	1	<input type="checkbox"/>
施設内の消耗品は詰め替え式を購入している。	1	<input type="checkbox"/>
OA用紙等は両面印刷や縮小印刷等を行っている。	1	<input type="checkbox"/>
事務文書は電子掲示板やメール、回覧等により共有している。	1	<input type="checkbox"/>
会議資料のペーパーレス化を行っている。	1	<input type="checkbox"/>
顧客への文書等は紙での送付を控え、電子メール等で送付している。	1	<input type="checkbox"/>
生ごみの水切りを行っている。	1	<input type="checkbox"/>
顧客に対して使い捨て用品の提供をしていない。	1	<input type="checkbox"/>
商品の簡易包装に努めている。	1	<input type="checkbox"/>

2. リユース（再使用）	評価点	申請欄
使用済み封筒、ファイル、段ボールを繰り返し使用している。	1	<input type="checkbox"/>
ミスコピー紙や不用となった片面コピー紙は、裏紙を利用し、コピー用紙やメモ用紙にするなどしている。	1	<input type="checkbox"/>
不用になった事務用品は他部署と譲り合っている。	1	<input type="checkbox"/>
商品納入時に通い箱・袋を使用している。	1	<input type="checkbox"/>
機器は修理などにより長期使用に努めている。	1	<input type="checkbox"/>

3. リサイクル（再生利用）	評価点	申請欄
ペットボトル、発泡スチロール、食品トレイ等のプラスチック類をリサイクルにまわしている。	1	<input type="checkbox"/>
古紙類を分別し、リサイクルにまわしている。	1	<input type="checkbox"/>
缶・びんを分別し、リサイクルにまわしている。	1	<input type="checkbox"/>
食品廃棄物をリサイクルにまわしている。	1	<input type="checkbox"/>
紙類に再生紙を利用している。	1	<input type="checkbox"/>
事務用品にグリーンマークやエコマークのある再生品を利用している。	1	<input type="checkbox"/>
施設において資源化可能なものを回収している。	1	<input type="checkbox"/>
具体例：		

4. ごみ減量に向けた取り組み	評価点	申請欄
OA用紙の使用量を把握し、削減の目安にしている。	2	<input type="checkbox"/>

分別種類に応じた回収容器を置き、分別を徹底している。	2	<input type="checkbox"/>
ごみや資源物等の保管場所には、分別種類ごとに保管できるよう十分なスペースを確保している。	2	<input type="checkbox"/>
ごみの出し方など廃棄物を管理する部署や責任者を設置している。	2	<input type="checkbox"/>
組織として目標を立て、継続的にごみ減量・資源化に取り組む体制が整っている。	2	<input type="checkbox"/>
ごみや資源物の発生量や資源化量を把握している。	2	<input type="checkbox"/>
従業員等に対しごみの出し方に関する情報を定期的に提供している。	2	<input type="checkbox"/>
SDGsのゴールを意識し、組織として目標設定や取り組みを行っている。	3	<input type="checkbox"/>
具体例：		

評価点合計	点
--------------	----------

※認定基準は40点満点中20点以上

7 ゼロカーボン部門の取り組み内容

「対象」欄の1つ以上にレを入れ、該当する提出書類を添付してください。

	対象	取り組み内容・提出書類
1	<input type="checkbox"/>	「RE100」加盟団体である。
		提出書類
		・「RE100」参加承認通知の写し
		・事業者等の全体計画
		・短期（1～5年）の目標・取り組み
2	<input type="checkbox"/>	「再エネ100宣言 RE Action」の参加団体である。
		提出書類
		・「再エネ100宣言 RE Action」参加承認通知の写し
		・事業者等の全体計画
		・短期（1～5年）の目標・取り組み
3	<input type="checkbox"/>	ゼロカーボン実現のため、「脱炭素化推進計画」等を作成している。
		提出書類
		・脱炭素化推進計画等（2050年までの全体計画）
		・短期（1～5年）の目標・取り組み

8 食品ロス削減部門の取り組み内容

①現在取り組んでいる内容の申請欄にレを入れてください。

②評価点合計の欄に点数を記入してください。

※例にひとつでもあてはまる場合、申請可能です

1. 基本項目	評価点	申請欄
食材保管時の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫のチェックにより、廃棄をなるべく出さない ・冷凍保存の活用 ・鮮度が落ちないように真空パックを活用 	1	<input type="checkbox"/>
調理段階での取組 <ul style="list-style-type: none"> ・食材の使いきり等、食品ロスの発生抑制の実践 (余った食材を利用できる柔軟なメニューをつくる、食材のまるごと使い切り等) ・作り置きをせず注文を受けてからの調理 	1	<input type="checkbox"/>
食べ残しを出さない工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフサイズや小盛りメニューの設定 ・コース料理の場合、量が選択できる ・料理等の写真を掲載し、量やカロリー、味などが分かるメニュー提供 ・お客様の好みをあらかじめ把握し、食べ残しをなるべく出さない 	1	<input type="checkbox"/>
宴会等での工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・予約時に年齢層・男女比・嗜好等を確認し、適量の料理を提供 ・宴会幹事等へ食べきりの呼びかけを行う(20・10・0運動の呼びかけ・実施等) ※20・10・0運動とは最初の20分最後の10分間は自席で食事を楽しむこと 	1	<input type="checkbox"/>
食べ残しの持ち帰りができる工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰りについての表示(持ち帰り用容器の提供、持ち帰り可能食品の表示) 	1	<input type="checkbox"/>
包装資材の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・長期保存できる包装資材の使用 ・賞味期限の年月日表示から年月表示への変更 	1	<input type="checkbox"/>
賞味期限の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・既存の賞味期限の見直しやロングライフ商品の開発 	1	<input type="checkbox"/>
納品期限の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の納品期限(3分の1ルール)の緩和 	1	<input type="checkbox"/>
規格外食材・製品の使用や販売 <ul style="list-style-type: none"> ・規格外製品(ふぞろい、納期限過ぎた商品など)の販売 ・規格外野菜の使用や販売 ・未利用魚(漁獲量が確保できない、美味しいが知られていない)の使用や販売 	1	<input type="checkbox"/>
季節食品の予約販売 <ul style="list-style-type: none"> ・予約販売等による季節食品の需要に見合った販売 	1	<input type="checkbox"/>
店頭での手つかず食品(賞味・消費期限切れ食品)の削減につながる工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・POP等の広報資材を活用した店頭での手つかず食品を抑制するための啓発の実施 ・食料品の見切り販売(消費期限、賞味期限の近い商品の値引き等)やポイント付与の実施 ・ロングライフ商品の積極的な活用 ・手前取りの推奨 	1	<input type="checkbox"/>

<ul style="list-style-type: none"> ・発注支援システム（A I の活用など）を導入し、適正発注の実施 ・衛生管理上支障のない範囲で、賞味期限、消費期限に達するまで小売を継続 		
ばら売り、少量パック製造・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・ばら売り、少量パック、量り売りなど、お客様が望む分量の実施 	1	<input type="checkbox"/>
フードシェアリングサービス（ECサイト）の利用 <ul style="list-style-type: none"> ・余剰品、期限が迫っている商品の掲載・販売 	1	<input type="checkbox"/>
その他取組	1	<input type="checkbox"/>
具体例：		

2. 検証項目	評価点	申請欄
食品廃棄物の発生量の把握・計量	2	<input type="checkbox"/>
組織として目標を立て、継続的に食品ロス削減に取り組む体制が整う	2	<input type="checkbox"/>

3. 社会貢献	評価点	申請欄
フードバンク活動や子ども食堂への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・余剰食品をフードバンクや子ども食堂へ提供 	3	<input type="checkbox"/>
食品ロス削減に関する広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や学生への環境教育 ・社員への環境教育 	3	<input type="checkbox"/>
食品リサイクルの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを堆肥化し、堆肥を地元生産者への提供 ・生ごみを地元の養鶏・養豚場へ提供 	3	<input type="checkbox"/>
SDG s のゴールを意識し、組織として目標設定と実践	3	<input type="checkbox"/>
具体例：		
評価点合計		点

※認定基準は30点満点中15点以上